⑵　外国為替資金特別会計（別表３参照）

外国為替資金の収支は、前年同期の8,675億円の受取超過から、3,129億円の支払超過となった。収入は、前年同期（４兆8,510億円）に比べ、２兆5,774億円減少して２兆2,736億円となった。一方、支出は、前年同期（３兆9,835億円）に比べ、１兆3,970億円減少して２兆5,865億円となった。

⑶　その他の特別会計等

その他の特別会計等の収支のうち、主な項目についてみると次のとおりである。

社会資本整備事業の収支は、収入4,951億円、支出9,274億円、差引き4,323億円の支払超過であって、前年同期（3,301億円の支払超過）に比べ、1,022億円支払超過額が増加した。

保険の収支は、収入11兆8,307億円、支出11兆5,101億円、差引き3,206億円の受取超過であって、前年同期の7,950億円の支払超過から受取超過となった。

３　国債等・国庫短期証券等

△印は支払超過（単位　億円）

区分	平成25年度第４・四半期			前年同期		
	発行(借入)	償還	差引き	発行(借入)	償還	差引き
国債等	359,905	181,252	178,653	331,488	166,528	164,960
国債(１年超)	346,957	173,304	173,653	323,597	162,597	160,999
借入金	12,948	7,948	5,000	7,891	3,931	3,960
国庫短期証券等	1,076,237	897,841	178,396	1,080,960	1,014,614	66,346
国庫短期証券	971,237	792,840	178,396	975,960	909,614	66,346
一時借入金	105,000	105,000	△ 0	105,000	105,000	△ 0

国債等及び国庫短期証券等の発行（借入）・償還状況は、上表のとおりである。

国債等の収支は、17兆8,653億円の受取超過であって、前年同期（16兆4,960億円の受取超過）に比べ、１兆3,693億円受取超過額が増加した。国債（１年超）の収支は、発行34兆6,957億円、償還17兆3,304億円、差引き17兆3,653億円の受取超過であった。借入金の収支は、借入１兆2,948億円、償還7,948億円、差引き5,000億円の受取超過であった。

国庫短期証券等の収支は、17兆8,396億円の受取超過であって、前年同期（６兆6,346億円の受取超過）に比べ、11兆2,050億円受取超過額が増加した。国庫短期証券の収支は、発行97兆1,237億円、償還79兆2,840億円、差引き17兆8,396億円の受取超過であった。一時借入金の収支は、借入10兆5,000億円、償還10兆5,000億円、差引き０億円の支払超過であった。

（参考）　実質収支

上で述べた財政資金対民間収支は、各会計等と民間との間における収入支出（窓口収支）のみをとらえたものであるが、各会計等の収支の実態をみるため、これに各会計等相互間の収支（国庫内振替収支）を加えた実質収支を示すと、次のとおりである。

△印は支払超過（単位　億円）

区分	窓口収支 (A)	国庫内振替収支 (B)	計（実質収支）(A)＋(B)
一般会計	△ 24,089	△ 108,278	△ 132,367
特別会計等	△ 31,287	72,879	41,592
財政投融資	24,696	△ 19,853	4,844
社会資本整備事業	△ 4,323	13,073	8,750
外国為替資金	△ 3,129	31,885	28,756
保険	3,206	△ 1,426	1,779
その他	△ 51,738	49,201	△ 2,537
小計	△ 55,376	△ 35,399	△ 90,775
国債等	178,653	△ 13,984	164,669
国債（１年超）	173,653	△ 13,773	159,880
借入金	5,000	△ 211	4,789
国庫短期証券等	178,396	49,383	227,779
国庫短期証券	178,396	48,004	226,400
一時借入金	△ 0	1,379	1,379
合計	301,673	—	301,673
調整項目	△ 253	—	△ 253
総計	301,421	—	301,421

第２　国庫対日銀収支（別表４及び別表６参照）

△印は支払超過（単位　億円）

区分	平成25年度第４・四半期	前年同期
国庫短期証券の発行・償還(△)	△ 236,231	△ 75,069
特別会計の債券売・買（△）	14,925	9,401
財政投融資	△ 11,960	△ 4,910
国債整理基金	26,885	14,311
その他	△ 80,285	△ 76,709
計	△ 301,591	△ 142,377

期中における国庫対日銀収支（＊５）は、上表のとおり、30兆1,591億円の支払超過であって、前年同期（14兆2,377億円の支払超過）に比べ、15兆9,214億円支払超過額が増加した。

その内容についてみると次のとおりである。

１　国庫短期証券の発行・償還

国庫短期証券の発行・償還による日本銀行との間の資金調達・資金返済状況をみると、資金調達２兆5,960億円、資金返済26兆2,191億円、差引き23兆6,231億円の支払超過であって、前年同期（７兆5,069億円の支払超過）に比べ、16兆1,162億円支払超過額が増加した。

２　特別会計の債券売・買

特別会計と日本銀行との間の債券売買の状況をみると、１兆4,925億円の受取超過であって、前年同期（9,401億円の受取超過）に比べ、5,524億円受取超過額が増加した。財政投融資は、１兆1,960億円の支払超過であって、前年同期（4,910億円の支払超過）に比べ、7,050億円支払超過額が増加した。国債整理基金は、２兆6,885億円の受取超過であって、前年同期（１兆4,311億円の受取超過）に比べ、１兆2,574億円受取超過額が増加した。

３　その他

国庫と日本銀行との間の経常収支は、８兆285億円の支払超過であって、前年同期（７兆6,709億円の支払超過）に比べ、3,576億円支払超過額が増加した。

第３　政府預金（別表５及び別表６参照）

財政資金対民間収支（30兆1,421億円の受取超過）から政府預金（＊６）の増減に関係のない調整項目（253億円の支払超過）を除いた収支は、30兆1,673億円の受取超過であった。また、国庫対日銀収支は、30兆1,591億円の支払超過であった。その結果、政府預金の期末残高は、前期末（１兆6,722億円）に比べ、82億円増加して１兆6,805億円となった。